

「分離腺管を用いた背景粘膜および胃癌の分子病理学的、臨床病理学的解析」
研究へのご協力をお願い

研究へのご協力をお願い

このホームページ上の内容は、岩手医科大学で行われる上記の研究についての説明です。本文は担当医師の説明を補い、あなたの理解を助けるために用意されたものです。この内容をお読みいただいた上で、ご自身の自由意思でこの研究に参加するかどうかをお決め下さい。たとえ協力されなくても今後の治療の妨げになり不利な扱いを受けることはありません。この研究は医学の発展のために行われ、患者さんの理解と同意および協力の上に成り立つものです。

1. この研究内容

この研究は、胃癌についての研究です。胃癌の性質から癌の発生を明らかにすることが目的です。患者さんの手術した際に組織を採取して、そこから抽出した DNA を用いて行われます。この研究に選ばれる患者さんは、岩手医科大学付属病院にて胃癌で手術をされた方が対象です。

2. この研究に参加された場合

研究に参加された場合には、手術で摘出した胃癌から抽出した DNA を用いて解析が行われます。医学的理由で摘出された胃癌を用いて行う研究なので患者さんの身体的なご負担はありません。研究後も、将来、他研究試料としても用いる可能性があるため、半永久保存を予定しています。万が一、廃棄することとなる際には、研究責任者の同席のもと廃棄します。

この研究にご協力いただけても不利益を受けることはありません。

3. この研究に不参加、または途中での辞退について

この研究にご協力いただけるかどうかはあなたがお決め下さい。ご協力をお断りになっても不利益を受けることはありません。

また、同意後に協力を辞退することもできます。

4. 患者さんのプライバシー保護について

あなたの個人情報とは今回の研究以外の目的で利用せず、厳重に管理することをお約束します。本研究の解析結果について、被験者を特定できないようにした上で、研究会や学会で報告することはあります。いずれの場合も個人に関する情報（名前など）が使用されることはありません。

5. この研究に関わる経費と利益相反について

患者様のご負担は生じません。この研究に必要な経費は岩手医科大学医学部病理診断学講座の講座研究費より負担します。本研究に関わる研究者について、利益相反はありません。

6. 研究成果の公表

研究成果から将来知的財産権が生じた場合は、被験者に属しません。

7. 質問の自由

この研究に関する質問はいつでも何度でも要求することができ、その質問に対して納得がいくまで説明を受けることができます。

以上、この研究内容について十分ご理解いただいた上で、もし研究にご協力いただけない場合は以下まで連絡をお願いします。

なお、この研究は岩手医科大学附属病院の倫理委員会で審査を受け、この研究が医学的に適切であり、患者さんの人権が守られていることを確認され、承認されています。

【この研究の内容や進展に関する問い合わせ窓口】

研究責任者：菅井 有（すがい たもつ）

連絡担当者：杉本 亮（すぎもと りょう）

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

電話： 019-651-5111 内線 3123

電子メール：ryosugim(at)iwate-med.ac.jp

[(at)を@に変更してご利用ください]